

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人優里の会

1 事業の成果

平成25年に設立した当法人は、熊本県や熊本市から里親制度の普及・啓発、研修事業の委託を受け活動を続けてきた。令和2年12月に熊本県から里親養育包括支援のフォスタリング機関として事業を受託し、広報啓発・リクルート、研修、委託推進、訪問支援を実施した。事業実施で、登録者や委託児童が増加した。また、三菱UFJ銀行等から寄付を受け、里親制度の啓発事業や児童虐待防止事業を実施した。令和4年度もコロナの影響が続き研修や講演会等を対面だけでなく、オンライン形式も取り入れて行い、遠隔地であっても多くの方が参加できる事業実施形態を確立した。

【フォスタリング事業】

〈広報啓発・リクルート〉本年度も対面、ZOOMの両方利用できる体制を作り、感染防止を図り参加者の利便を図った。効果的な広報啓発のやり方を検討し、パネル展や、地域を限定したバスのラッピング広告、フリーペーパー2社に隔月広告を載せ、多くの人が里親制度に関心が持てるように事業を実施した。また、出前講座を行政、学校、民生児童委員、福祉施設等に対し18回実施し、周知を図った。高校においては探求の時間に里親制度の説明を行い、高校生が関心を持ち自ら考え行動する支援を行った。また、ホームページやSNSの充実を図り、里親に関する問い合わせが増加した。

〈研修〉 コロナの影響だけでなく遠隔地の受講者の利便を図るため対面・ZOOM形式両方で行った。新規里親登録研修は、前期、後期の2回開催し、5世帯8人が新たに里親として登録した。研修体制の見直しを行い、里親の養育スキルの向上や社会的養護への理解の促進を図った。

〈委託推進〉 里親と里子のマッチングを進めた。

〈訪問支援〉 委託後は定期的に訪問し、里親養育への支援を行った。里子への自立支援は他の団体との協働を図り実施した。またアフターフォロー事業として委託解除後の里子の支援も行った。里親協議会と連携し、里親家庭が必要な支援についてアンケート調査を行い、次年度以降の新規事業に繋いだ。

【児童虐待の予防と防止に関する事業】

子どもの福祉を守る観点で虐待防止にも取り組み、子どもの安全・安心な生活を保障し、将来に夢を持ち自立できる子どもを育てるために、講演会や虐待防止ハンドブック冊子発行を行った。要保護児童対策地域協議会の構成員となり、進行管理のSVとして活動した。定期講演会は「未来を担う子どもたちの健全な成長のために」をテーマに、元厚生労働大臣を招いて講演会を開催した。社会的養育問題や児童福祉法改正の経緯、フォスタリング機関の役割等について学んだ。様々な分野の方々の参加があり、里親制度への関心が高まった。講演会や研修で参加者の効果測定を行い、参加の前と後での意識や行動の変化をスケール化した。

【子どもと家族支援に関する事業】

里コールは、里親だけでなく「すべての子どもと子どもを育てる方のために」と対象を広くし、電話相談を広く県民からの相談を受けられる体制を作った。最後に、熊本県からフォスタリング事業を3カ年受託したが、今後も途切れない支援を行うために、事業継続ができるよう、より一層責任と自覚をもって、事業に取り組んでいく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲及人数	支出額(千円)
フォスタリング機関(里親養育の包括的支援)の運営活動事業	里親制度に関する広報活動を行う (パネlex展・チラシ配布・出前講座・座談会・フォーラム・新規里親開拓・広報誌掲載・テレビラジオ新聞取材・バス広告・ホームページ運用)	【パネlex展・チラシ配布】5/20~25・6/3~11・6/13/22・7/15~24・8/9~8/19・8/24~8/30・9/1~9/14・9/1~11・9/30~10/10・10/13~28・10/18~28・11/11~20・1/5~15・1/5~15・2/12~18・3/10~19 【出前講座】11/28・11/14・1/10・1/30・2/3・5/25・8/22・8/30・10/20・11/24・1/11・1/29・6/17・9/16・10/7・11/11・2/13・11/28 【座談会】6/25・2/25 【フォーラム】10/15 【テレビラジオ新聞取材】4/14・11/17・ 【広報誌掲載・バス広告・ホームページ】4/1~3/31	【パネlex展・チラシ配布】エムズシティ(水俣市)・ゆめタウン八代・八代市役所・イオン錦町・水俣市役所・人吉市役所・八代市立図書館 【出前講座】八代高校・八代市・錦町・水俣市・山江村・天理教会・西陵ロータリークラブ・三菱UFJ銀行熊本・熊本キリスト教・八代南ロータリークラブ・八代平成病院・セントさくら 【座談会】桜十字ホールやつしろ・水俣市ふれあいセンター 【フォーラム】県立劇場 【テレビラジオ新聞取材】TKU・読売新聞・FMやつしろ	90人	パネlex会場利用者、出前講座・座談会・フォーラム参加者・テレビラジオ視聴者・新聞広報誌購読者・ホームページ訪問者 2,000人	44,843
	里親への法定研修(新規登録の研修・養育養子縁組里親更新研修) 里親への任意研修(スキルアップ研修・ペアリング研修・フォスタリングチェンジプログラム)	7/4・11/28・7/24・7/25・12/18・12/19・5/17・6/9・11/9・2/4・6/28・11/23・3/9・7/13・9/8・1/24・2/22	桜十字ホールやつしろ・ZOOMで実施 八代事業所・地域交流スペースさんさん・フォスタリング機関アグリ・八代サレ園	68人	熊本県内の里親28人	
	里親と子どものマッチング	随時	八代事業所及び里親宅、児童福祉施設	10人	熊本県内の里親14世帯、子ども10人	
	里親サロン(歓迎サロン・田植えサロン・稲刈りサロン・餅つきサロン・通常サロン) 訪問支援 障害児里親委託推進	【里親サロン】6/12・10/4・10/10・11/1・12/6・12/10・1/17・1/20・2/7・3/7 【訪問支援】通年 随時	八代事業所・錦町・八代児童相談所・里親宅 県南障害児入所施設	24人 4人	里親サロン参加者160人、訪問世帯30世帯 里親5世帯、子ども6人	
児童虐待防止に関する事業	講演会開催・虐待防止ハンドブック作成・要保護児童相談対応	【講演会】6/18 【虐待防止ハンドブック、要保護児童相談対応】通年	【講演会】グランメッセ熊本・ZOOMで実施	13人	熊本県内の里親37人	1,411
子どもと家族支援に関する事業	里コール(電話相談)	随時	熊本県内	4人	県内20人	43
その他この法人の目的を達成するために必要な事業						0

## 令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(特定非営利活動法人 優里の会)

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	55,000	
賛助会員	252,000	307,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	1,318,340	
協賛金収入	373,000	1,691,340
3 事業収益		
事業委託費(熊本県フォスクリング機関)	45,522,300	
事業委託費(熊本市SV業務委託費)	700,000	46,222,300
4 その他収益		
受取利息	127	
雑収益	36,730	36,857
その他収益		
経常収益計		48,257,497
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	25,647,278	
役員報酬	3,993,000	
通勤費	441,251	
法定福利費	4,144,923	
福利厚生費	722,013	
人件費計	34,948,465	
(2) その他経費		
図書費	25,365	
業務委託費	1,926,816	
諸謝金	268,840	
印刷製本費	709,437	
会議費	26,194	
旅費交通費	1,924,771	
車両費	690,818	
通信運搬費	715,291	
消耗品費	879,909	
修繕費	62,000	
水道光熱費	187,932	
地代家賃	1,871,750	
賃借料	1,610,521	
保険料	41,530	
租税公課	66,110	
研修費	199,900	
支払手数料	142,381	
その他経費計	11,349,565	
事業費計		46,298,030
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	120,000	
役員報酬	280,000	
人件費計	400,000	
(2) その他経費		
支払寄付金	400	
修繕費	48,895	
諸会費	16,600	
支払手数料	35,353	
支払報酬	318,000	
その他経費計	419,248	
管理費計		819,248
経常費用計		47,117,278
当期経常増減額		1,140,219
III 経常外費用		
過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,140,219
法人税		0
当期正味財産増減額		1,140,219
前期繰越正味財産額		3,248,006
次期繰越正味財産額		4,388,225

(備考)

1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

2 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。

3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。

計算書類の注記(令和4年度)

法人名：(特定非営利活動法人優里の会)

1. 重要な会計方針

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

単位：円

科目	フォスタリング機関 (里親養育の包括的支援)の運営活動事業	児童虐待防止に関する事業	子どもと家族支援に関する事業	その他この法人の目的を達成するために必要な事業	合計
(1) 人件費					
給料手当	25,347,278	300,000	0	0	25,647,278
役員報酬	3,693,000	300,000	0	0	3,993,000
通勤費	441,251	0	0	0	441,251
法定福利費	4,144,923	0	0	0	4,144,923
福利厚生費	722,013	0	0	0	722,013
人件費計	34,348,465	600,000	0	0	34,948,465
(2) その他経費					
図書費	25,365	0		0	25,365
業務委託費	1,704,316	222,500		0	1,926,816
諸謝金	218,840	50,000		0	268,840
印刷製本費	585,932	123,505		0	709,437
会議費	2,194	24,000		0	26,194
旅費交通費	1,809,054	115,717		0	1,924,771
車両費	690,818	0		0	690,818
通信運搬費	562,079	109,736	43,476	0	715,291
消耗品費	850,337	29,572		0	879,909
修繕費	62,000	0		0	62,000
水道光熱費	187,932	0		0	187,932
地代家賃	1,871,750	0		0	1,871,750
賃借料	1,503,961	106,560		0	1,610,521
保険料	41,530	0		0	41,530
租税公課	66,110	0		0	66,110
研修費	174,900	25,000		0	199,900
支払手数料	137,761	4,620		0	142,381
その他経費計	10,494,879	811,210	43,476	0	11,349,565
合計	44,843,344	1,411,210	43,476	0	46,298,030

役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下のようになっています。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書) 事業費 人件費 給与手当	25,647,278	7,085,400	0

令和4年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 優里の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
(現金 預金)			
現 金	21,222		
普通 預金	7,983,312		
ゆうちょ(特定資産)	394,116		
(現金 預金) 合計	8,398,650		
(売上 債権)			
未 収 金	175,000		
(売上 債権) 合計	175,000		
流動資産合計		8,573,650	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産			
敷 金	70,000		
投資その他の資産 計	70,000		
固定資産合計		70,000	
資 産 合 計			8,643,650
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,897,411		
預り金	355,154		
仮受金	2,860		
流動負債合計		4,255,425	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			4,255,425
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額	3,248,006		
当期正味財産増減額	1,140,219		
正味財産合計			4,388,225
負債及び正味財産合計			8,643,650

## 令和4年度財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 優里の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	21,222		
普通預金	7,983,312		
特定資産(ゆうちょ銀行)	394,116		
現金 預金 合計	8,398,650		
(売上債権)			
未 収 金	175,000		
売上債権 計	175,000		
流動資産合計		8,573,650	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
(2) 無形固定資産	0		
(3) 投資その他の資産			
敷 金	70,000		
投資その他の資産 計	70,000		
固定資産合計		70,000	
資産合計			8,643,650
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,897,411		
預り金	355,154		
仮受金	2,860		
流動負債合計		4,255,425	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,255,425
正味財産			4,388,225